

単元名 主語と述語に 気をつけよう

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。
(3) 主語と述語の関係に気付き、話したり書いたりしようとする。

標準的な展開例

02010209_001

【教材名】主語と述語に 気をつけよう (下 P. 27～P. 28)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 主語と述語の役割を知る。</p> <p>★主語と述語に気を付けて読んだり書いたりしよう。</p> <p>○例文や「お手紙」を使って、主語と述語の定義を確認する。</p> <p>○教科書(P. 27) の課題に取り組む。</p> <p>2 主語と述語に気を付けて話したり書いたりする。</p> <p>○主語と述語を文章から探すゲームをする。</p> <p>○単語だけの文を主語と述語の文に直したり、主語と述語の整った文を書いたりする。</p> <p>○主語と述語について分かったことを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語という言葉も、知らせる。 ・例文を提示し、サイドラインを種類分けをして引かせ、主語と述語が分かるようにする。 ・練習問題を解かせながら、主語が文頭にくるとは限らないことを押さえる。 <p>【評】主語と述語探しの活動を通して、主語と述語の関係に気付く「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お手紙」の本文から、例文を提示し、ペアで主語と述語を探させる。 ・教科書(P. 28)「ぼうしが。」の例で「どうした。」がないと、言いたいことが伝わらないことをロールプレイなどを行い、理解させる。 ・日常生活で児童が使うような場面を取り上げて考えさせてもよい。 <p>【評】主語と述語の整った文を書いたり話したりする活動を通して、主語と述語を使った文を話したり書いたりする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の言いたいことを相手に正確に伝えるために、主語と述語のつながりが大切であることを確認し、生活場面でも生かそうという気持ちをもたせる。

【 備 考 】